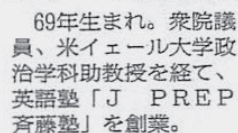


ど、自分なりのストーリーをもって、挑戦することが大事です。失敗しても、そこから学び、目標を達成するためにストーリーを修正していく。



英語塾代表

大谷選手は、20以上の球団の中から、「二刀流」に理解があるという理由でエンゼルスを選んだといわれています。「超人気球団」というブランドではなく、自分のやりたいことがしっかりとわかっていて、自分の価値観を持っている芯の強さを感じます。

実際、最近の生徒の意識はだいぶ変わってきていると感じます。米国の大学でも、心理学ならミシガン大学、統計学ならカリフォルニア大学バークリー校といった具合に、

びたいのか、その境地に至るまでのストーリーの有無が合否に影響するのです。

その点でも、大谷選手は、内側からわき出てくるストーリーが明確です。「大リーグで通用する地力をつけるために日本ハムをまず選び」「大リーグでは、二刀流挑戦に理解のある球団を選ぶ必要がある」「環境面でも、寒暖差が小さい米西海岸は順応しやすい」といったところでしようか。誰もが大谷選手みたいになれるわけではないけれど、

政治をやる、起業する、研究者として何かを発見するには、既存の正解をいくら知っていても役に立たない。やはり試行錯誤し、仮説を検証し続けるといけない。そのために大谷選手のように、ブランドにこだわらず、自分の原点を大切にすることが重要でしょう。「大谷」からは、子どもの教育環境を考えるうえでも、大人がどう生きるべきかという点でも学べることはたくさんあると思います。

(聞き手 編集委員・尾沢智史)

(聞き手 編集委員・尾沢智史)